



# ふたば支援学校 地域支援センターだより

令和7年11月4日  
令和7年度  
第2号  
福島県立ふたば支援学校

## ～今年度の双葉地域支援ネットワーク会議の取組報告～

ふたば支援学校地域支援センター「さくら相談室」では、双葉地域支援ネットワーク会議を年3回開催しています。本会は、「地域で共に学び、ともに生きる教育」を目指し、双葉地区の幼稚園・こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、そして特別支援学校の教職員同士のネットワークづくりと学び合いを行っています。今年度から、双葉郡特別支援教育研究会との共催となり、双葉地区の特別支援教育の充実に向けて取り組んでいます。

6月12日(木)に行われた第1回では、特別な支援を必要とする子どもの指導について、各園、各校における指導の現状と課題について情報交換や協議を行いました。協議を通して、自立活動の視点で特別な指導内容や合理的配慮などの支援について整理をしたり、行動の背景にある要因を捉え、手立てや支援を考えたりするなどの話し合いを行いました。

9月12(金)には、第1回の会議を受け、富岡町立富岡小学校を会場に授業研究会を行いました。富岡小学校さくら学級(知的障がい特別支援学級)の自立活動の授業を参観し、その後のグループ協議では、今後の授業づくりに生かせそうなたくさんのアイディアなどが出されました。



### ＜参加者からの感想＞※アンケートより

- ・実践してみたいことがたくさんみつかりました。自校の研修に活かしたいと思います。
- ・一人一人の状況を踏まえて指導支援していくことが大切だと改めて感じました。
- ・幼少中のつながり、引継ぎの大切さを改めて実感しました。
- ・いろんな視点からいろんな先生方の意見がきけて、勉強になりました。

## ☆☆☆スクールカウンセラーと話そう！☆☆☆

本校では、今年度よりスクールカウンセラーが配置されています。スクールカウンセラーと話をすることで、相談する力を身に着けることができるよう児童生徒へのカウンセリングを行っています。



館山豊先生  
(たてやま ゆたか)

### 【自己紹介】

今年度からお世話になっているスクールカウンセラーの館山 豊です。沖縄県石垣市から移住してきました。子どもたちの困り感に寄り添いながら、少しでも支えてあげられる存在になりたいと思っています。よろしくお願いします。

### 【児童生徒の声】

- ・やさしくて、緊張してドキドキするけど話しやすいです。(中学部)
- ・気づかないことを気づいてくれてびっくりしました。(高等部)
- ・相談を解決してくれたのがうれしかったです。(高等部)



## ～館山先生の子育てワンポイントコラム～



いつも温かく、一生懸命に子育てに向き合っているすべての保護者の皆さまに、心から敬意を表します。「うちの子、大丈夫かしら」「どうしたらいいのかわからなくて」といったお気持ちを、面談でよくお聞きします。今までのご経験や育児情報がそのまま当てはまらず、試行錯誤の毎日だとお察しします。皆さまの毎日の子育てが少しでも楽になればいいなあという願いを込めて、私が大事だと感じていることを何回かに分けて書いていきたいと思います。このコラムが、日々の親子関係づくりのヒントに少しでもなれば幸いです。

### 第1回:「できないこと」より「できていること」に目を向ける

「周りの子と比べて焦ってしまう」「注意しないときちんとやらなくて」と心配される保護者の声をよく聞きます。親として当然の悩みだよなあと思います。その一方で、子どもたちと面談すると「どうせ自分なんか」「できっこない」という言葉を多く聞き、胸を痛めています。大人は「〇〇ができない」という点に目が行きがちですが、子どもたちは毎日必ず何かを頑張り、努力しています。大切なのは、その裏にあるお子さんの頑張り、つまり「できた部分」を見つけ、認めることだと思います。

○うまく片付けられなくても、「自分で片付けようとしたね」とがんばろうとした意欲や「前より上手だね」と成長したことを認める。

○忘れ物があっても、「ハンカチとティッシュは自分で確認して持って行けた」というできた部分に焦点を当てる。

「頑張ってるね」「すごいね」といった肯定的な言葉を意識的に伝えましょう。この「小さな成功の積み重ね」こそが、子どもが成長する大きなエネルギーになるはずです。

<今後のスクールカウンセラー来校予定日> 保護者の皆さまも、ぜひご活用ください。

【11月】5日、10日、17日

【1月】19日、26日

【12月】1日、8日、15日、22日

【2月】2日、9日、16日



## 【地域への研修支援・相談支援について】

### <こども園との取組>

檜葉町立あおぞらこども園にて、「特別支援教育と子どもの支援について」というテーマで研修会を実施しました。グループ協議では、子どもの理解について、「氷山モデル」の考え方を活用し、子どもの気になる行動の背景要因を考え、そこからできる支援や手立てを考えました。「一人で考えるのではなく、職員間で話したり、手立てを共有したりできた」などの多くの声が聞かれました。



### <これまでの相談支援件数(4月～9月)>

○こども園 11件

・「特別支援学校での学習と見学」「就学支援と進め方」等

○小学校 3件

・「医療への受診」等

○中学校 10件

・進路相談(不登校含む)」「思春期のかかわり」「特別支援学級における指導支援」「服薬」等

○高等学校 9件

・「友達とのかかわり」「保護者との連携」等



**計 33件**

ふたば支援学校のホームページ、noteをぜひご覧ください！

<https://futaba-sh.fcs.ed.jp/>

<https://futaba-shs.note.jp/>

令和7年1月より檜葉町で教育活動を再開しました。今後も双葉地区の子どもたちの自立と社会参加に向け、切れ目のない支援を一緒に考えていきましょう。

